



週刊さんいん学聞

第477号

紙面ガイド

まなぶん2

- おうちで英語
- きらめく星
- 数からの挑戦状

まなぶん3

- ブチモとめぐる
- ブックトーク
- ニュースで解けた

まなぶん4

- まなぶんクロス
- 投稿ひろば
- 高校入試対策講座

まなぶん1

戦争のこと ありのままに

「窓ぎわのトットちゃん」発売から42年

黒柳徹子さんが続編

俳優でエッセイストの黒柳徹子さんが「続 窓ぎわのトットちゃん」という本を出しました。1981年発売の「窓ぎわのトットちゃん」の続編です。新作には第2次世界大戦中の体験が書かれていて「戦争のことを、ありのままに書きたかった」と話しています。

なぜなに?

1日の食事としてお母さんからもらったのは15つぶの大豆だったり、疎開先の青森ではリンゴ農家の作業小屋を借りて生活したり…。戦争中は今では信じられないような大変な経験をしました。

前作は、戦争が始まる前の話が中心でした。黒柳さんが通ったトモ工学園での楽しい日々がつづられ、続きを楽しみにする人が多くいましたが、黒柳さんが「(戦争が始まってからのことは) おもしろく書くことはできない」と思っているうち40年以上がたっていま

した。

続編を書こうと思ったのには、あるきっか

けがありました。2022年のロシアによるウクライナ侵攻です。黒柳さんはインタビュー取材で「絶対に戦争はないと思って生きてきたけど、だんだん心配になって。覚えていることを書いた方が良くと思うようになった」と教えてくれました。

戦争の話だけではなく、終戦後に主人公のトット(黒柳さん自身のこと)がNHKの専属俳優にな

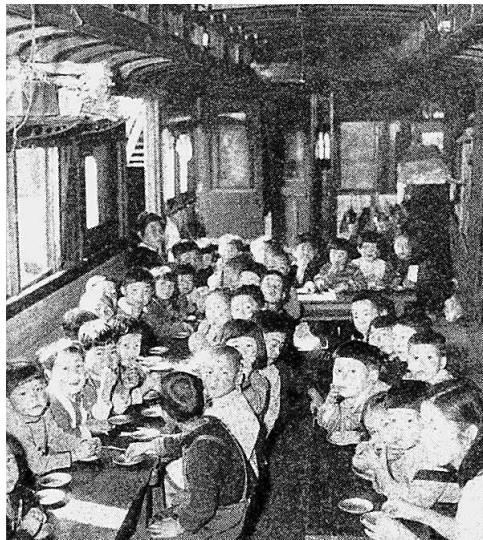
黒柳徹子さんの歩み

- 1933年 ● 東京で生まれる
- 39年 ● 第2次世界大戦が始まる
- 45年 ● 青森に疎開
- 終戦
- 53年 ● NHK放送劇団に入団
- 81年 ● 「窓ぎわのトットちゃん」出版
- 2023年 ● 「続 窓ぎわのトットちゃん」出版
- アニメ映画「窓ぎわのトットちゃん」公開



ろうと前に進んでいくエピソードも盛りこまれています。トットの個性を大事にしてくれた人たちとの思い出はどれも温かく描かれています。黒柳さんは今も俳優やテレビ番組の司会としてかつやくしています。「戦争はつまらなかったけど、仕事はいつも自分がおもしろいと思ったことをやってきました。本当にラッキーだったと思います」と半生をふり返りました。

使わなくなった電車を利用したトモ工幼稚園の教室。「窓ぎわのトットちゃん」にも同様の教室が登場する。黒柳徹子さんが通ったトモ工学園は空襲で焼けた=1948年11月2日、東京都内



前作「窓ぎわのトットちゃん」は、東京・自由が丘にあったトモ工学園のユニークな教育と、そこに通った黒柳徹子さんの子ども時代の日々が生き生きと書かれた本です。英語、フランス語、中国語などに翻訳され、全世界でベストセラーとなりました。

この本が原作の新作アニメーション映画が12月8日に公開されるなど、出版から40年以上たった今も多くの人に親しまれています。本がヒットしたことで、黒柳さんは社会福祉法人「トット基金」を立ち上げ、耳の聞こえない人たちの劇団を支援するようになりました。また、1984年から国連児童基金(ユニセフ)の親善大使として世界中を訪ね、戦争や病気で苦しむ子どもたちを支える活動を続けています。

まなぶんクイズ

(12月18日付紙面から出題)

講談社は、俳優でエッセイストの黒柳徹子さんが1981年に同社から刊行した「窓ぎわのトットちゃん」が、「最も多く発行された単一著者による自叙伝」としてギネス世界記録に認定されたと18日付で発表しました。今年9月末時点で全世界の累計発行部数は？
①2011万3862部 ②2311万3862部
③2511万3862部

空からみたニッポン



イラスト 黒澤達矢

<ヒント> 1881年に設置されたアメリカ製の時計です

(クイズとイラストの答えはまなぶん4面)

スポーツ

アメリカ大リーグでちがうチームに移ることができる立場になっていた大谷翔平選手が強豪のドジャースに入団しました。ロサンゼルスにあるチームの球場で14日に記者会見し「勝つことが僕にとって一番大事なことです。常に挑戦したい」と抱負を話しました。

ドジャースと10年契約を結び、長い年月をかけて計7億ドルを受け取ります。日本円にすると約

大谷選手、ドジャースに入団



1千億円で。その金額は世界のスポーツ史上最高といわれています。今季までエンゼルスで投打の「二刀流」で好成績を残したことが高く評価されました。ドジャースは年間王者を決めるワールドシリーズで優勝をねらえるチームです。9月に右ひじを手術したため来季は打者に専念しますが、3月のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で優勝した時のように大きな舞台で活躍することを望んでいます。

新型コロナウイルス禍で運休していた米子空港(境港市佐斐神町)と香港を結ぶ香港航空の国際定期航空便が18日、2024年2月26日までの「季節便」として、3年10カ月ぶりに運航を再開しました。香港からの初便は搭乗率86.8%と上々のスタートを切りました。

季節便はクリスマス、春節(旧正月)の大型連休を含む期間中、運休前と同じ174人乗りの機材を使用し、週4往復(月、水、金、日曜)で計41往復を計

米子ー香港便、季節運航で再開



画。ダイヤは香港午前7時55分発、米子午後0時半着と、米子午後1時半発、香港午後4時10分着。米子空港着の初便は平井伸治鳥取県知事が1階ロビーで出迎えました。

同路線は16年9月から週2往復、18年12月から週3往復で定期運航しましたが、コロナ禍で20年12月に運休。今夏のチャーター便(15往復)が平均搭乗率82.0%と好調で、今回の再開につながりました。

社会

2023年の世の中の様子を表す「今年の漢字」が「税」に決まったと日本漢字能力検定協会が12日発表し、京都市の清水寺で森清範貴主が大きな和紙に筆で書きました。増税や減税といった税にまつわるさまざまな話題が続いたことなどが理由に挙げられています。

今年の漢字は29回目。協会のウェブサイトなどでつづったところ、税が最多の票を集めました。税が選ばれるのは、14年以来2回目です。

今年の漢字は「税」、2位「暑」



2位は「暑」。記録的な猛暑を理由にする人が多くいました。3位は「戦」。ロシアによるウクライナ侵攻の終わりが見えないことや、パレスチナ自治区ガザでの戦闘を上げる声がありました。38年ぶりに日本一に輝いたプロ野球阪神で注目された「虎」は4位でした。22年はサッカー・ワールドカップ(W杯)の熱戦などを理由に「戦」が選ばれました。



増えるといいね

2023年の様子を最もよく表す漢字1字が日本漢字能力検定協会(京都市)によって発表されたよ。広く募集して、最も多かったのが「税」。税にまつわる制度が注目されたからなんだ。トップ10には、阪神タイガースがプロ野球で日本一に輝いたことなど野球の話題にちなんで「虎」や「球」がランクイン! 2024年も明るい話題が増えるといいね。

19年から1年間「どきどき考古学」が本に

「週刊さんいん学聞」で2019年度に連載した企画記事「風ちゃんどッキー博士のどきどき考古学」が、「島根の歴史 知る知る事典」(穴道正年編著、山陰中央新報社刊)という本になりました。

「どきどき考古学」は、19年4月から20年3月まで隔週で26

回連載され、島根県立八雲立つ風土記の丘(松江市大庭町)の学芸員だった今井智恵さんと松宮加奈さんの2人が執筆。小学5年生の女の子と博士が県内の古墳や遺跡を訪れ、文化財としての重要性や価値を紹介しました。

本は、元小学校長で考古学、



島根の歴史知る知る事典

歴史研究者の穴道さん(75)が、大人と子どもが対話形式で地域の歴史を紹介する「親子で学ぶ」シリーズの第11弾で、A5判カラー、104頁。前編が「どきどき考古学」で、後編は穴道さんが県内各地で解説した文化や歴史、人物の中から九つを選んだ「島根の歴史ポケット豆知識」の2部構成になっています。島根県埋蔵文化財調査センター所長や県教育委員会文化財課長も務めた穴道さんは、「これ

まで数多くの考古学関係の書物が刊行されましたが、小学校高学年の子どもでも読める物はありませんでした」とし、今回の出版について「若手考古学者2人が分かりやすく執筆した連載は画期的な作品で、本に収めることにしました」と話しています。

本は、1760円(税込み)。山陰の主な書店で販売しています。問い合わせは山陰中央新報社出版部で電話0852(32)3420。